

経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	44,010	-	第2種該当	7：1

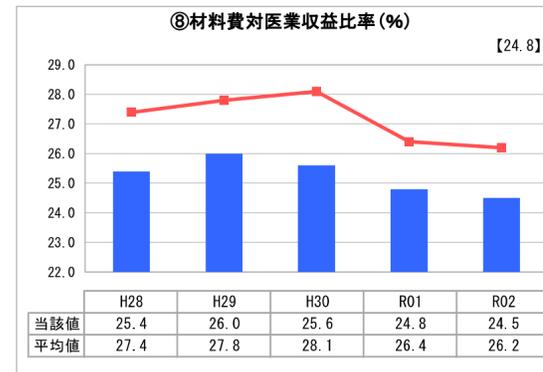
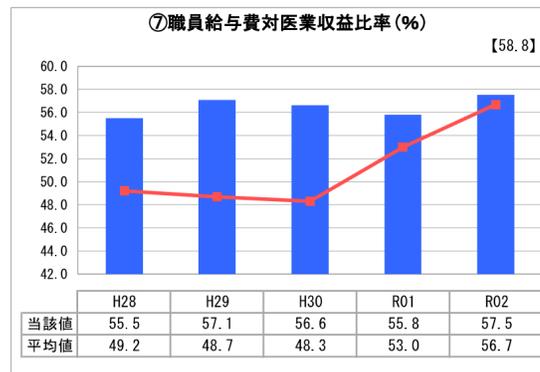
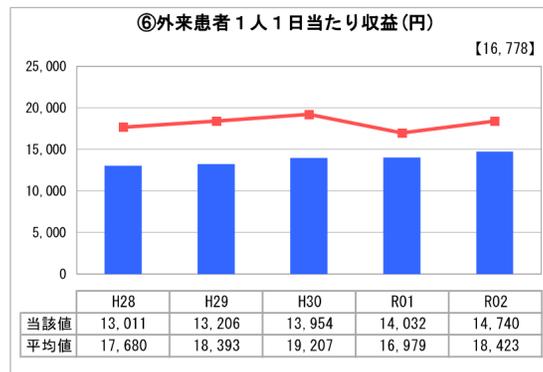
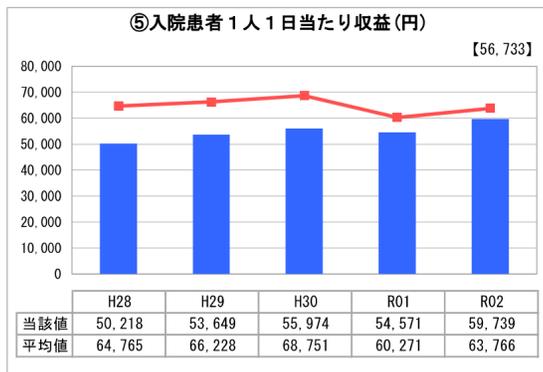
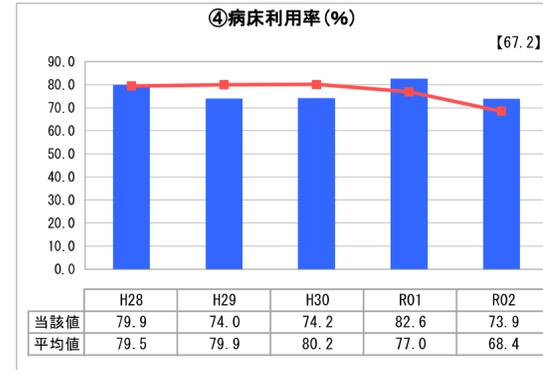
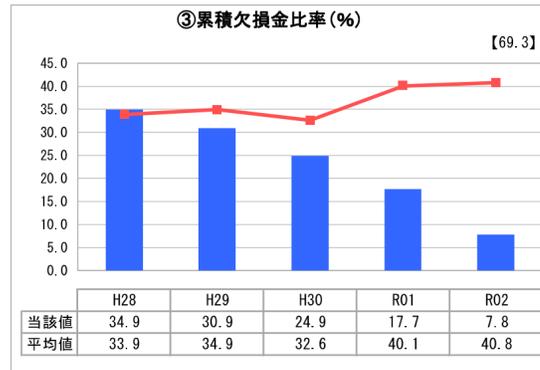
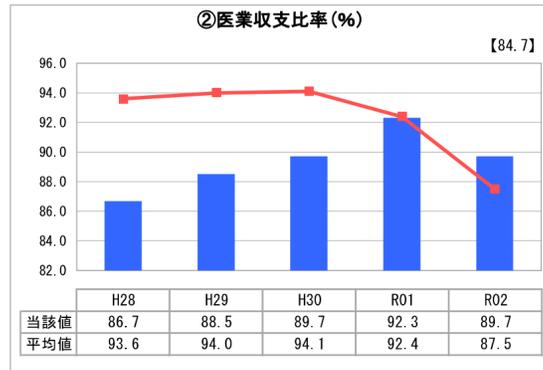
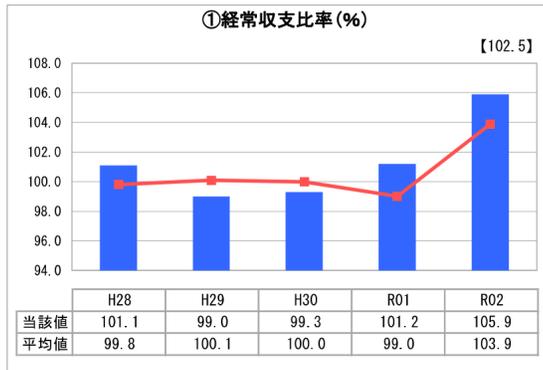
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

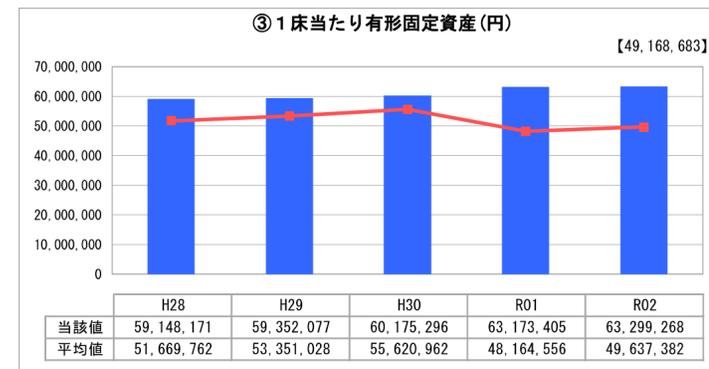
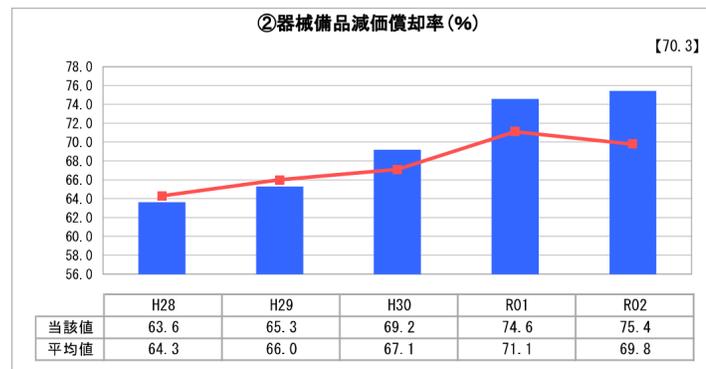
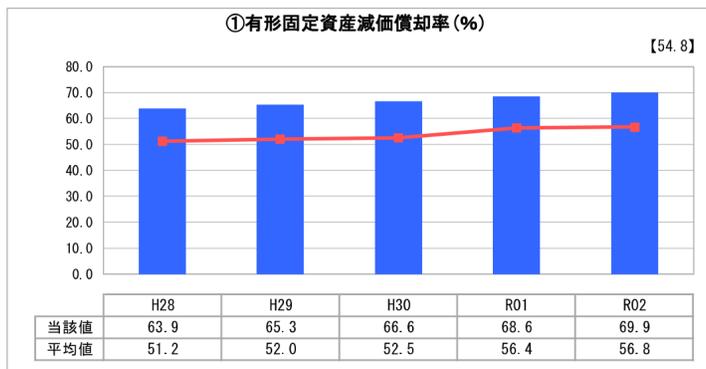
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
446	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
46	4	496
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
417	-	417

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成12年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

公立置賜総合病院は、置賜二次保健医療圏の中核医療機関として高度・専門医療を提供するとともに、小児・周産期医療、精神医療等の専門医療を担い、災害拠点病院としての機能、臨床研修指定病院として研修医を育成する教育機能も有している。
また、置賜地域唯一の救命救急センターを併設し、救急医療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院・外来の「1人1日当たり収益」は診療報酬改定や平均在院日数の短縮等により増加したが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により入院・外来患者数が減少したため、「医業収支比率」は2.6ポイント悪化したものの、平均値を2.2ポイント上回った。なお、精神科を有するため、入院・外来ともに診療単価は他病院と比較すると低い状況にある。

「経常収支比率」は、新型コロナ関連補助金等により4.7ポイント改善し、これに伴い「累積欠損金比率」も改善した。
「職員給与費対医業収益比率」は医業収益の減少により悪化した。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」は、前年度より1.3ポイント増加、平均値より13.1ポイント上回っており、平均より老朽化が進んでいる。
「器械備品減価償却率」は、前年度より0.8ポイント増加、平均値より5.6ポイント上回っており、建物（施設・設備）ほどではないが、平均より老朽化が進んでいる。

以上から、類似病院と比較すると、有形固定資産のうちでも特に建物（施設・設備）の老朽化が進んでいると分析され、今後は、大規模な施設・設備改修等による支出が増加することが見込まれることから、施設・設備の計画的な改修・修繕が必要である。

全体総括

新型コロナウイルス感染症流行に伴う患者数の減少等により病床利用率や医業収支比率は悪化した。H29年度の地方公営企業法全部適用以降、病棟再編、機能強化及び置賜地域の医療機関との連携強化等を図り診療単価の向上に努めてきた結果が現れている。

今後は、先行きが不透明な感染症への対応、人口減少に伴う患者数の減少、建物や器械備品の老朽化による支出の増加等の課題が懸念されるため、診療単価の増額等による収益の確保や費用の削減を図るとともに、国・県の施策や患者動向を注視し適切に対応していくことにより、健全経営に努めていく必要がある。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県置賜広域病院企業団 公立置賜長井病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	透訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,073	第2種該当	-	15:1

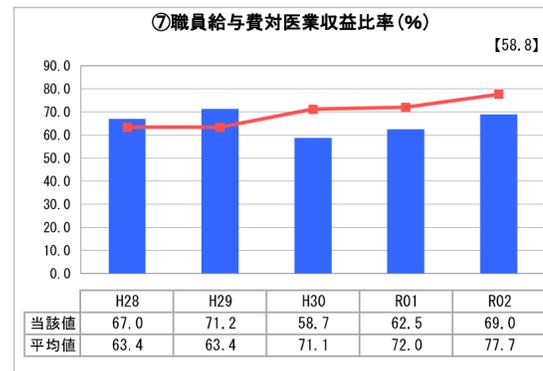
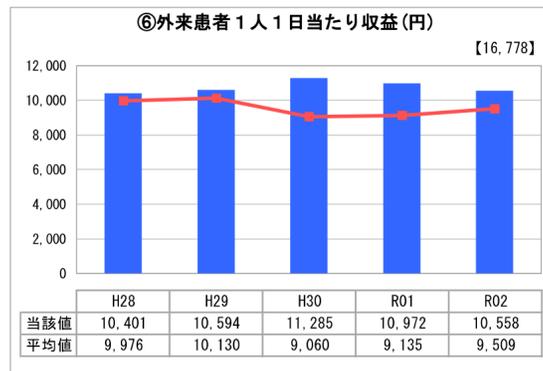
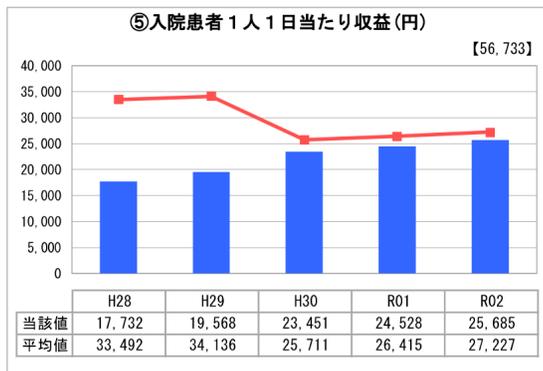
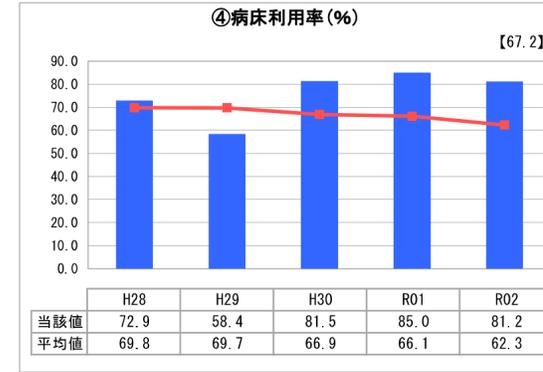
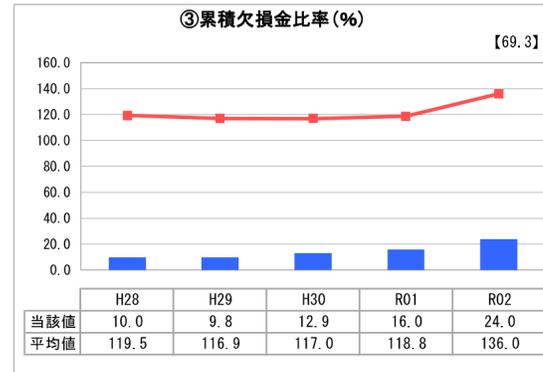
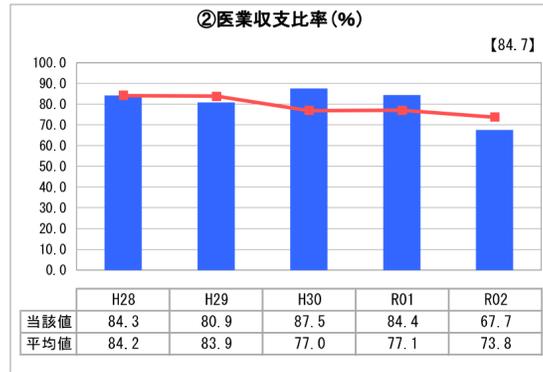
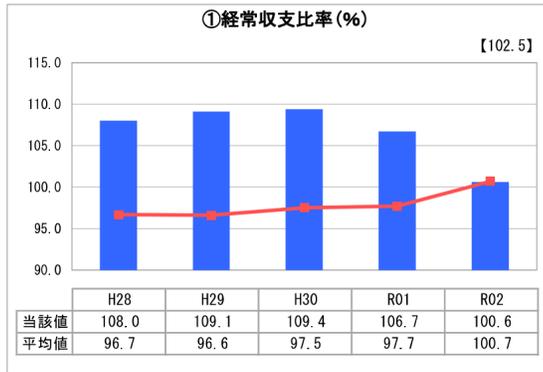
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

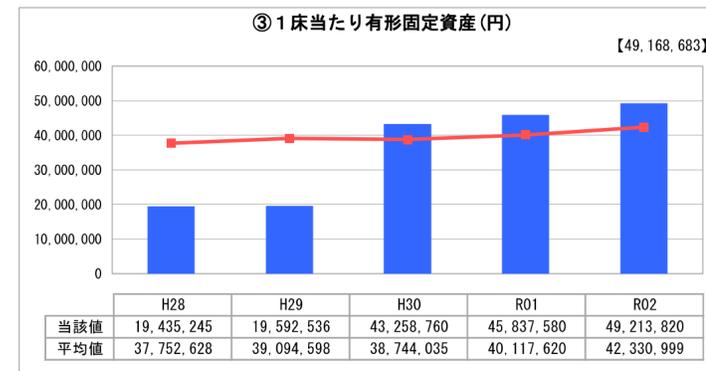
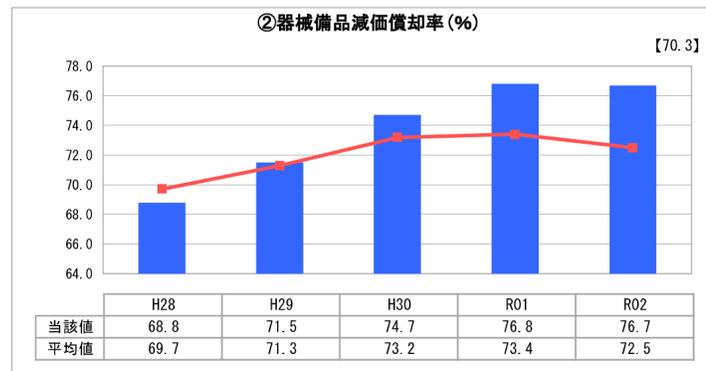
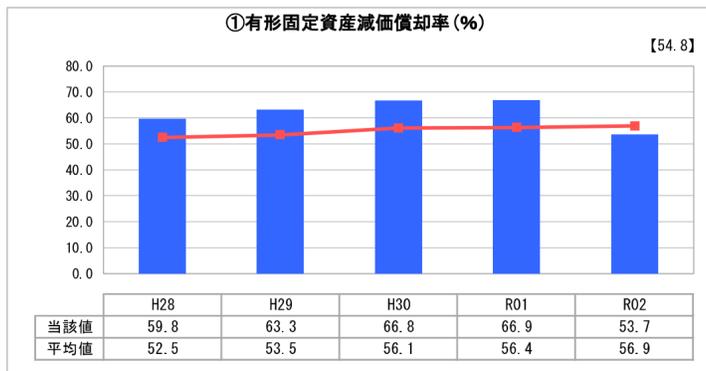
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成12年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

公立置賜長井病院は、高度医療や救急医療を提供する公立置賜総合病院との機能分化及び密接な連携を図りながら、より住民に身近なサテライト医療施設として、初期医療や回復期医療を提供している。

また、『長井市地域包括支援センター長井病院支所』・『長井市訪問看護ステーション』・医師会による『地域在宅医療連携室』を院内に開設し、地域医療との連携に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は、100%以上を維持しているものの、前年度より6.1ポイント減少している。「医業収支比率」は、平均値よりも6.1ポイント下回り、前年度より16.7ポイント減少している。

要因として、新型コロナウイルス感染症の影響等による患者数の減に伴う医業収益の減及び病院改築事業にかかる一部既存棟の解体による固定資産除却費の増が挙げられる。「職員給与対医業収益比率」も増加している。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」は、前年度より13.2ポイント減少し、平均値より3.2ポイント下回っている。

「器械備品減価償却率」は、前年度より0.1ポイント減少したものの、平均値より4.2ポイント上回っている。

現在、病院改築事業中であり、一部新棟が稼働していることから、有形固定資産減価償却率は減少したが、平成12年度に市立病院を一部事務組合立病院に再編統合した際、既存財産をそのまま一部事務組合に移管したため、法定耐用年数を大きく超える医療機器があるなど保有資産の老朽化が進んでいる。

全体総括

「経常収支比率」は継続して100%を上回る事ができた。一方、「医業収支比率」及び「職員給与対医業収益比率」は、新型コロナウイルス感染症等の影響による医業収益の減少によりいずれも昨年度より悪化した。

今後、特に外来患者数の減少が進むと予想されるため、引き続き医業収支を改善し、経営基盤の強化に努める必要がある。

病院建物の耐震性不足や老朽化に伴う病院改築事業（ECI方式による工事）について、令和元年度に着工し、令和4年のオープンに向けて整備を進めている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県置賜広域病院企業団 公立置賜南陽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,850	第2種該当	-	15:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均	

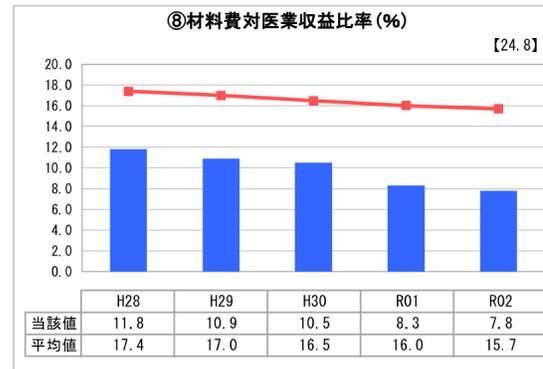
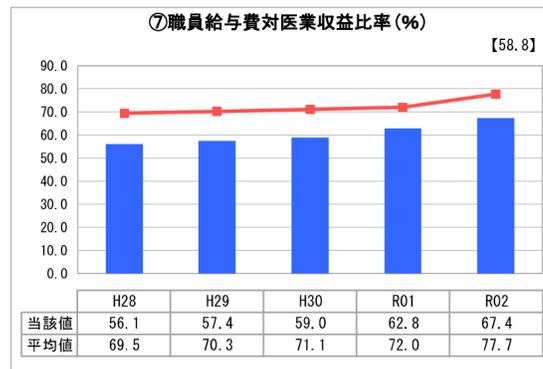
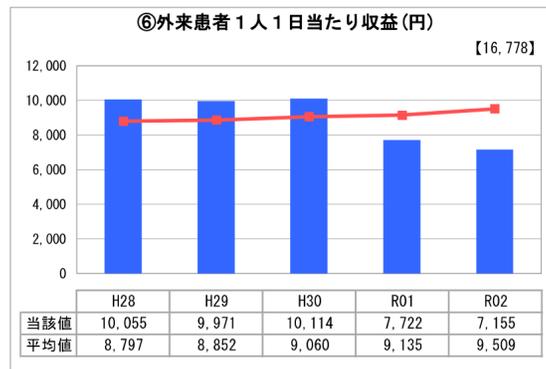
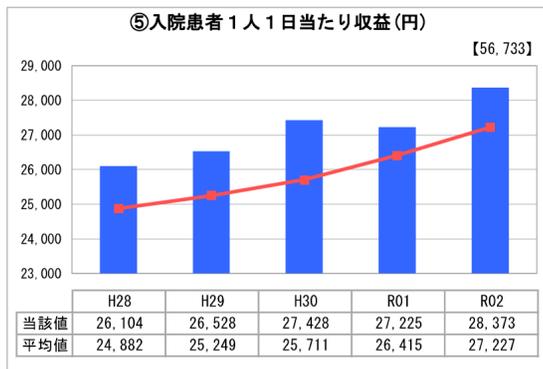
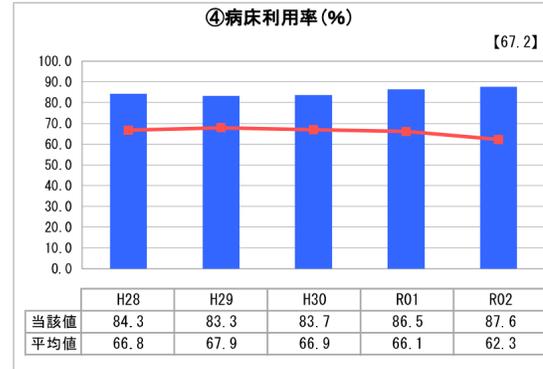
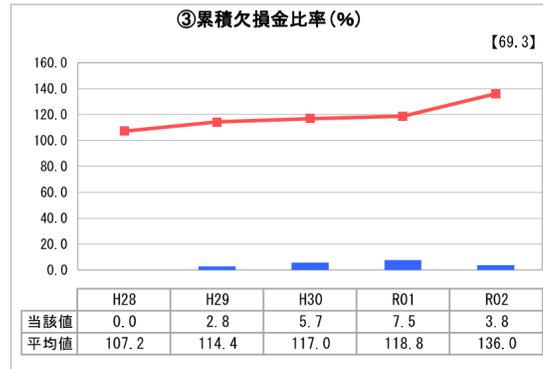
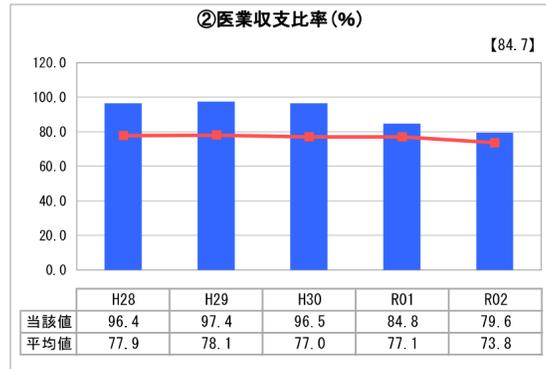
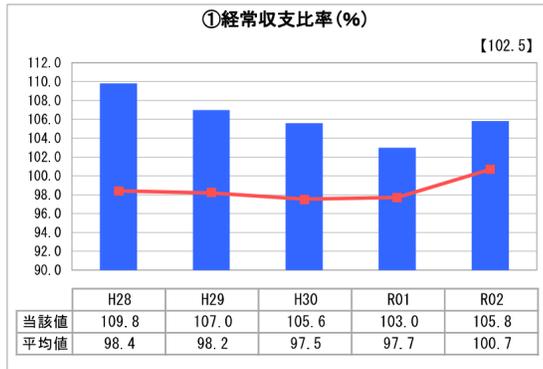
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成12年度	-年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

公立置賜南陽病院は、高度医療や救急医療を提供する公立置賜総合病院との機能分化及び密接な連携を図りながら、より住民に身近なサテライト医療施設として、初期医療や回復期・慢性期医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

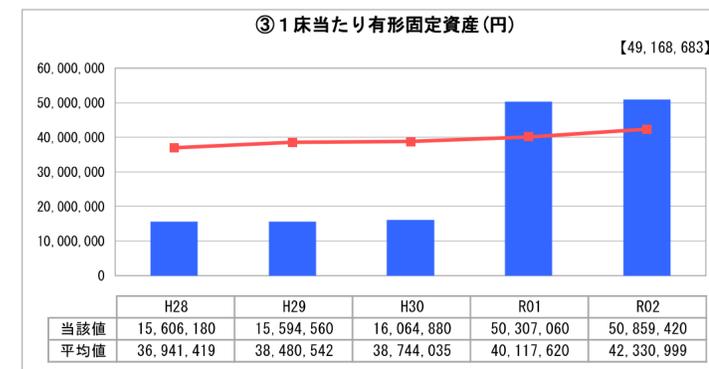
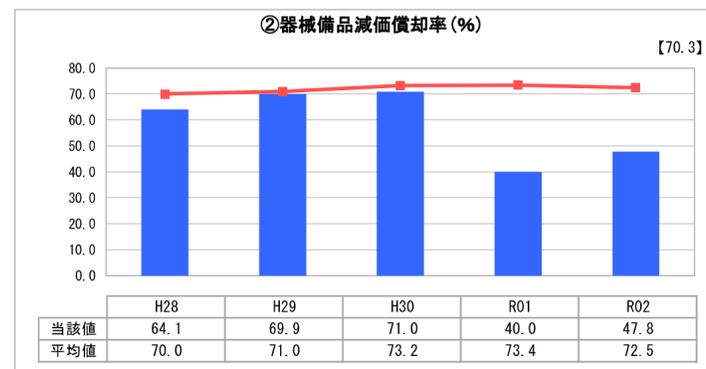
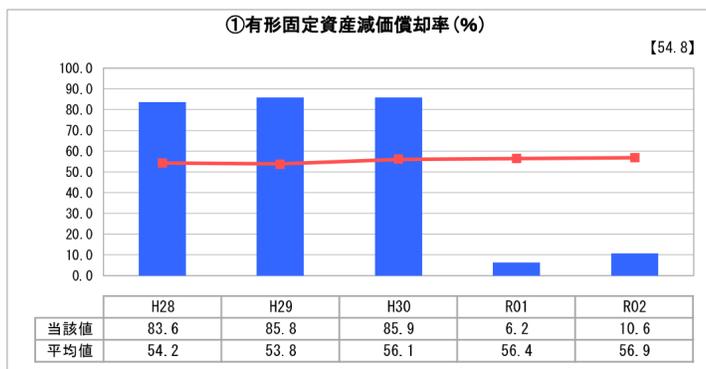
令和元年6月の新病院改築により、光熱水費・燃料費・修繕費等が削減されたが、減価償却費の増加等により、医業収支比率は悪化している。新病院改築後、人工透析室の廃止に伴い、「外来患者1人1日当たり収益」が平均値を下回っている状態が続いているが、それ以外の指標については平均値以上を維持している。

2. 老朽化の状況について

老朽化に伴い全面改築を行い、令和元年6月から新病院において診療を開始した。

※新病院の構造
鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階

2. 老朽化の状況



全体総括

新病院は山形県地域医療構想や各種将来推計を踏まえ、公立置賜総合病院との機能分化と連携、在宅医療の推進と連携強化を推進する医療施設として整備し、建物の耐震性能確保や患者の療養環境改善も行った。

一方で、新病院改築事業に伴う減価償却費や関連経費の増加等により、医業収支比率の低下が見込まれる。企業償還に係る負担増も見込まれることから、更なる収入の確保・経費の削減に取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。